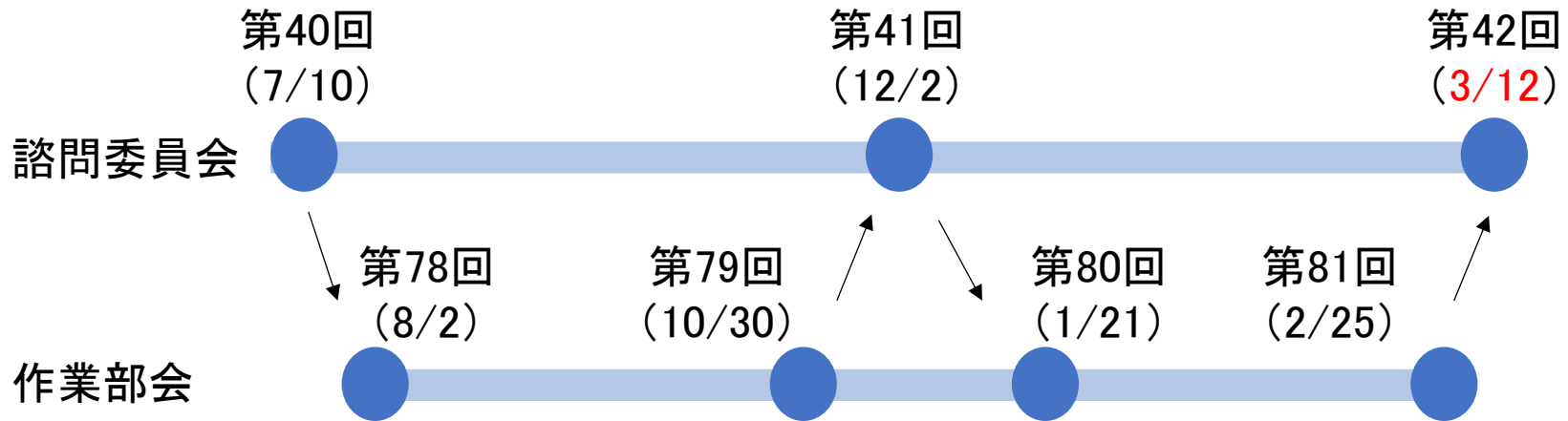


2024年度業務計画（作業部会）の 進捗状況について

一般財団法人 マルチメディア振興センター
Foundation for MultiMedia Communications

2025年3月12日

進捗状況一覧



	第78回	第79回	第80回	第81回
(1)①ガイドライン事例集(誤発信編)	・対応案検討	・事例集のドラフト案	・事例集の案	・事例集の案を決定
(1)②代行入力	・対応案検討	・代行入力パターンヒアリング案	・事例の概要→ヒアリング結果、合同訓練実施要綱案	・合同訓練実施要綱案への反映
(2)お知らせ	・対応案検討	・ヒアリング結果と追加項目案	・ひな型第2.0版案(前回同様)	・ひな型第2.0版策定
(3)業務見直し	・対応案検討	・検討対象、方向性の案	・ドキュメント見直し案(前回同様)	・ドキュメント見直し案の決定

2024年度の課題一覧

- 第40回Lアラート運営諮問委員会(7/10)を受けて、今年度の作業部会では、以下3つの課題を検討することとなった。

項目	主な課題
(1)Lアラート運用ガイドラインの更なる検討	都道府県へのアンケート結果等を踏まえて、ガイドラインの内容追加等を検討 (想定される例) a. Lアラート運用のベストプラクティスの追加 b. 代行入力に関する具体的な事例の検討 (代行入力の課題や運用方法) c. その他
(2)「お知らせ」の利用拡大に向けた取組	Lアラート利用者専用サイト(公共情報コモンズwiki)に公開している「災害時の生活情報(お知らせ)の発信ひな型集第1.0版」(2020年3月10日)を、最近の利用状況を踏まえて更新
(3)Lアラート運用業務の見直し	Lアラート運用センターでの業務(主に事務作業)について、現状に合わせた見直しを検討 ※利用規約を改正する必要がある場合は、Lアラート諮問委員会に諮問 (検討案) ・継続利用手続き(2年単位)について、全ての利用者を対象に実施する必要性があるか、検討が必要 ※一般情報伝達者の自治体が約140団体あり、現在も増加中。

2024年度の課題詳細(案)①

- 諮問委員会での議論を踏まえ、都道府県へのアンケート結果、全国合同訓練の報告書等をもとに、事務局において、各課題の詳細(主な課題/要望(要旨))、対応案(事務局案)や想定される成果物を以下のとおり整理。

(1) Lアラート運用ガイドラインの更なる検討

① Lアラート運用の具体的事例の追加

主な課題／要望(要旨)	事務局案	成果物(想定)
・ガイドラインでは、Lアラートへの発信で誤りが発生する「理由」は記載されているが、「具体的な事例」が少ない。(都道府県アンケート) ・都道府県担当者研修等で、「誤り例」を注意喚起していたが、その誤りが合同訓練で発生。(2024年全国合同訓練報告書) 【発生した「誤り」の内容】 ・環境依存文字についてデータ放送に表示される際の支障となった。 ・避難情報、避難所情報を自動配信「しない」で発信した。 ・住所に「日本、〒…都道府県名」が付加されていた。	・これまでに都道府県担当者研修や全国合同訓練等で注意喚起した「誤り例」等を事例集として整理し、再周知。 ・上記(誤発信)以外にも、ベストプラクティスとなる事例があれば追加を検討。	「Lアラート運用ガイドライン事例集(仮)」の追加 1) バッドプラクティス(誤発信) 2) ベストプラクティス →第79回作業部会にドラフト版提示 →第80回作業部会に(案)提示 →第81回作業部会に(案)提示

2024年度の課題詳細(案)②

②代行入力に関する具体的な事例の検討(代行入力の課題や運用方法)

主な課題／要望(要旨)	事務局案	成果物(想定)
・県に代行入力を実施してほしい。 ・代行入力を訓練のシナリオに入れて欲しい。 (2024年全国合同訓練報告書。複数の市町村から要望あり)	・都道府県や市区町村に、どのような状況において代行入力が必要なのかを確認。 ・都道府県担当者が市区町村担当者に代わり、代行入力を実施する場合の運用の仕方(取り扱う情報、責任分界点等)の具体的な事例を検討。 ※必要に応じて、作業部会構成員(都道府県)や要望があった都道府県の協力を得る(ヒアリング等)	来年度以降の「Lアラート全国合同訓練実施要綱」において、代行入力の実施に関する記載を追加 ※ガイドラインへの反映については、今後の課題とする →第79回作業部会にて、基本パターン(案)とヒアリングシートを提示。今後ヒアリング等を通じて深掘り。 →第80回作業部会にて、ヒアリング結果と上記実施要項(案)提示 →第81回作業部会にて、実施要項(案)提示

2024年度の課題詳細(案)③

(2)「お知らせ」の利用拡大に向けた取組

主な課題／要望(要旨)	事務局案	成果物(想定)
・2020年に策定した「災害時の生活情報(お知らせ)発信ひな型集」(お知らせのひな型集)について、それ以降の内容を更新していない。 (事務局) ・何故お知らせの利用が広まらないのかを明確にする必要がある。 (諮問委員会でのご指摘)	・2020年以降のお知らせ情報を分析し、「お知らせのひな型集」の内容を最新化するとともに、その内容を周知することで、「お知らせ」の利用拡大を図る。 ・利用が進まない理由については、過去に検討しているところ※、まずは各種媒体を通じて状況を確認するとともに、再度「お知らせ」に関する周知を行うなど、利用拡大に向けた対応を着実に実施。	「お知らせのひな型集」(第2.0版) →第79回作業部会でヒアリング結果とひな形の更新案(ドラフト)を提示 →第81回作業部会でひな形の更新案を提示

※アンケート等を踏まえ、利用を進めるために必要なこととして、発信内容の明確化(ひな型の作成)、発信ルールの設定(発信者と伝達者のフォーマットにおける共通認識)等が挙げられている。

2024年度の課題詳細(案)④

(3)Lアラート運用業務の見直し

主な課題／要望(要旨)	事務局案	成果物(想定)
加入者が増加しており※、これまでの経験やノウハウの蓄積等を踏まえ、どのような手続が必要か再検討が必要。 (事務局) ※加入者は、主に一般企業を想定していたが、近年は市町村の加入が増加 情報発信障害時のLアラート利用者への情報共有が必要(第78回作業部会でのご意見を踏まえ、追加)	・加入者に応じた、継続申請期間の検討 ・加入者に応じた、確認内容の検討 等	関連ドキュメントの見直し (申請書、手順書等) →第79回作業部会にて「有効期間」の見直し等について案を提示 →Lアラート利用者の情報共有方法や内容については検討中(利用者専用サイトでの公開など) →第81回作業部会にて ・規約改定案を提示 ・停止時フロー等を提示